

世田谷村日記

石山修武

十月二十五日

朝、中里和人との仕事についてプラン。菜園市場巡礼みたいなのが良いと思う。農文協の甲斐氏にも相談。21C農村研究会とのつながりも柔軟に進める。

十一時半研究室。十二時人事小委員会。十三時過修了。十四時半、写真家中里和人来室。21C農村研究会プロジェクトに関してメディアプロジェクトの相談。十五時半修論相談。アベル相談。渡辺O邸打合わせ。何故か、疲れがドツと押し寄せる。津波みたいであった。十八時過近江屋でインターネット社長若松氏と会食。久し振りに会った若松氏は前向きに今、考え抜いている様だ。思い切った決断をされん事を。二〇時過了。二十一時前世田谷村に戻る。帰りの電車で、第二回農村研究会の記録をチェックする。良い記録になっている。山口勝弘インタビューの記録も大変面白く出来上がった。これの頒布は高額になるぞ。滅多には読めぬものだからナア。非常に面白いのだ！

十月二十六日

冷水隆治さんのNYの個展は数日前に終わったようだ。テーブルの上に冷水さんから送られてきた作品の写真が散らばっていて、今朝フト眼にとまった。仲々良いと思った。今日は夕方、農文協甲斐さんと会う。会う為の準備を午前中にするつもり。

十六時研究室で農文協甲斐氏と会う。十八時半迄ミーティング。十九時過新大久保近江屋で続行。話し合っているうちに、先が少

し視えてきたように思う。二〇時半迄。二十一時過世田谷村に戻る。フリーター諸君、そして学生、若者、老人の何がしかをできるだけ地主になつてもらふ運動を21C農村研究会の運動の目標とする。

十月二十七日

十二時博士論文内公聴会、十三時教室会議。十六時芸術学校会議。二〇時芸術学校長鈴木了二氏と再び会う予定。

十七時会議、会議を終えて研究室へ戻る。十九時迄雑用、そして雑考。良い考えにまともらず。こういう時もある。十九時四〇分教員ロビーで鈴木氏と待ち合わせ、すぐに学校を出る。高島屋の上の小松屋で話す。了二氏と二人で話すのは初めてで興味深かった。鈴木氏との話しはもう少し時間をかける必要がある。